

2023年3月期 決算の概要

2023年5月12日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

2023年3月期 主なポイント



銀行合併・新銀行誕生後

合併の成果をあげる新たなステージへ

2022年度
中計2年目

2021年
4月

2024年
3月



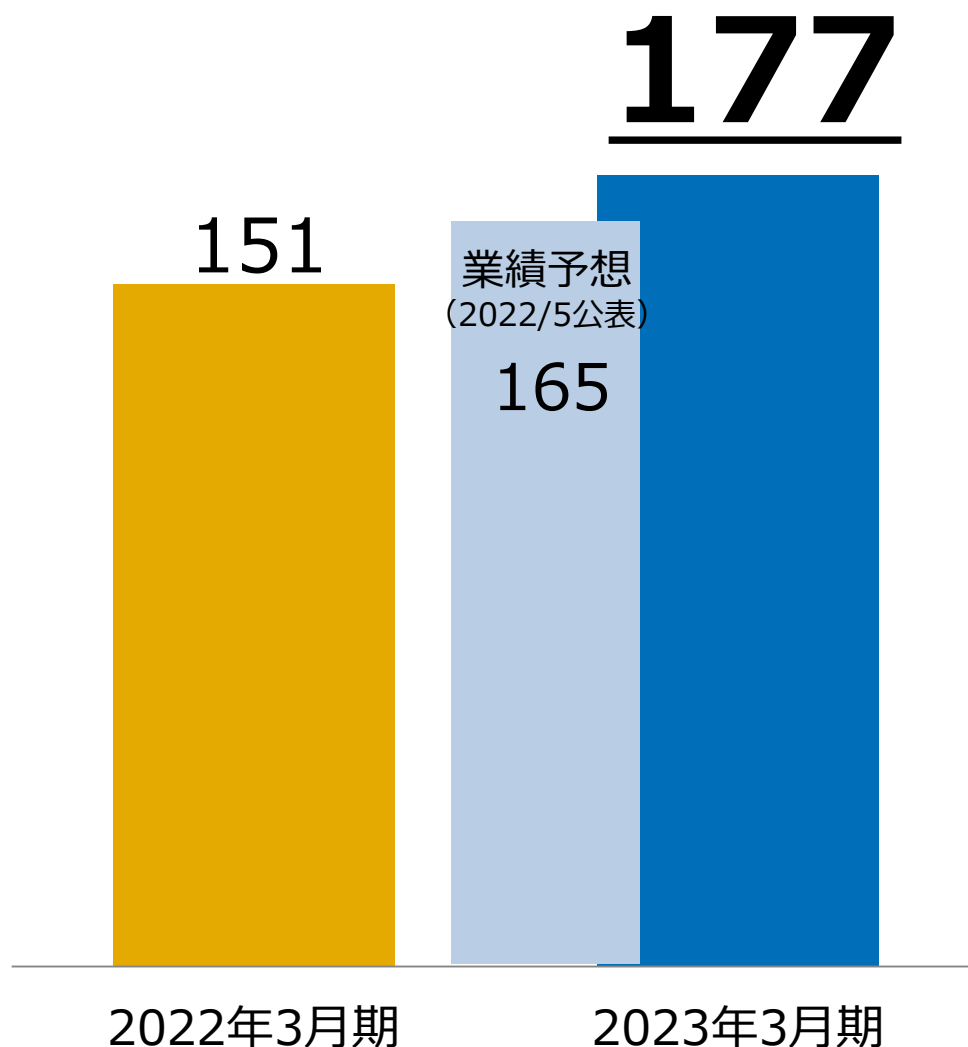
2023年3月期

- 1 FG連結純利益は、業績予想を上回り、かつ前年比でも増益
- 2 シナジー発揮に向けた態勢の一層の進化
- 3 全役職員が“一志団結”でグループ総合力を活かしたコンサルティング営業力を発揮



2023年3月期決算

FG連結 (億円)



前年比

+26億円
(+17.3%)

業績予想比

+12億円
(+7.6%)

部門別 当期純利益の状況

銀行単体 (億円)

148

121

120

業績予想
(2022/5公表)

2022年3月期

2023年3月期

前年比

+27億円
(+22.2%)

業績予想比

+28億円
(+23.7%)

部門別 当期純利益の状況

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の
親会社株主に帰属する当期純利益の合計

41



2022年3月期

28



2023年3月期

前年比

▲13億円
(▲31.5%)

証券事業

前年比▲12億円 (▲65.7%)

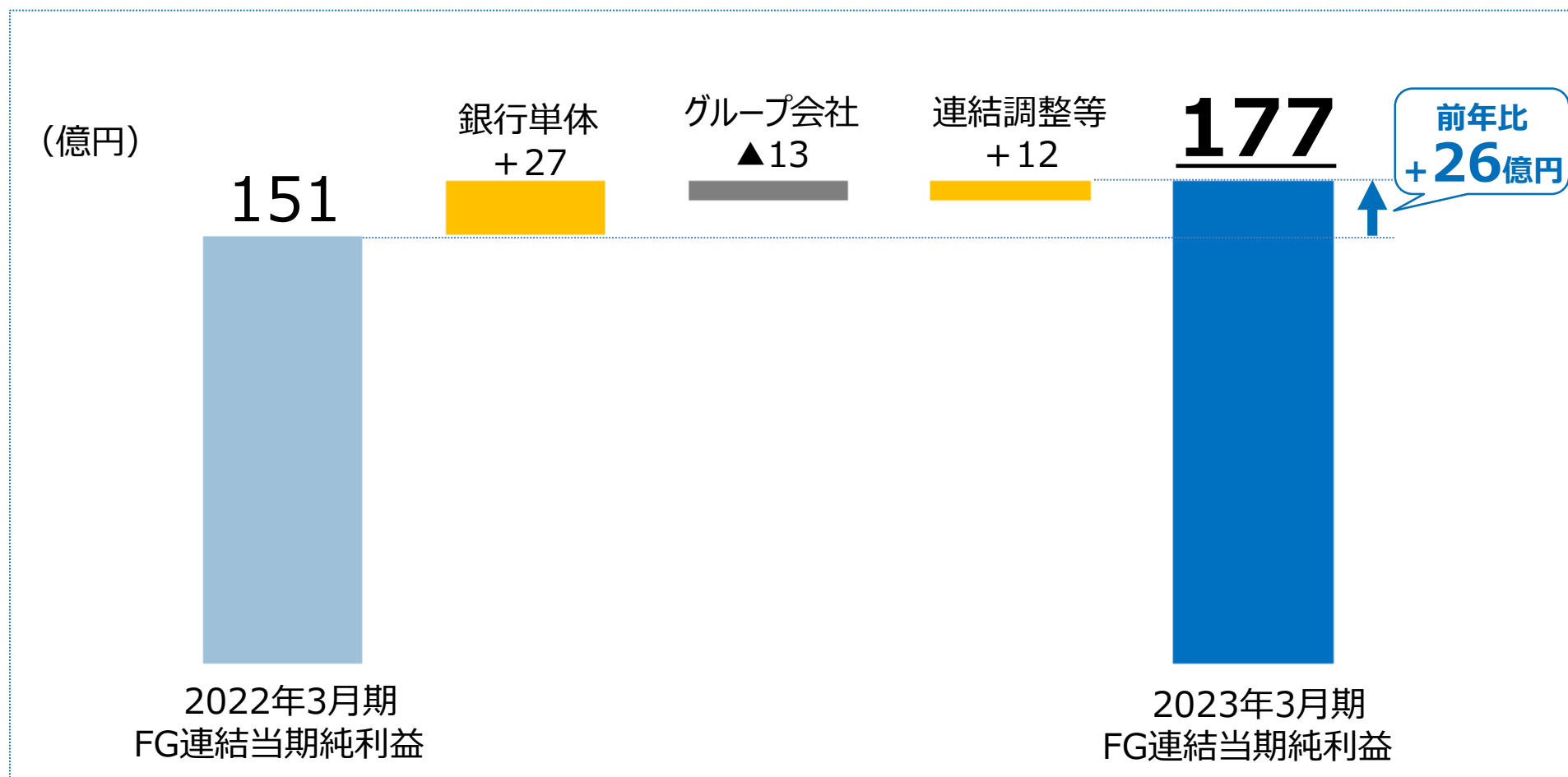
- － 不透明なマーケット環境を背景としたリスク回避姿勢の強まりや仕組債販売の一時停止などにより、前年を下回る

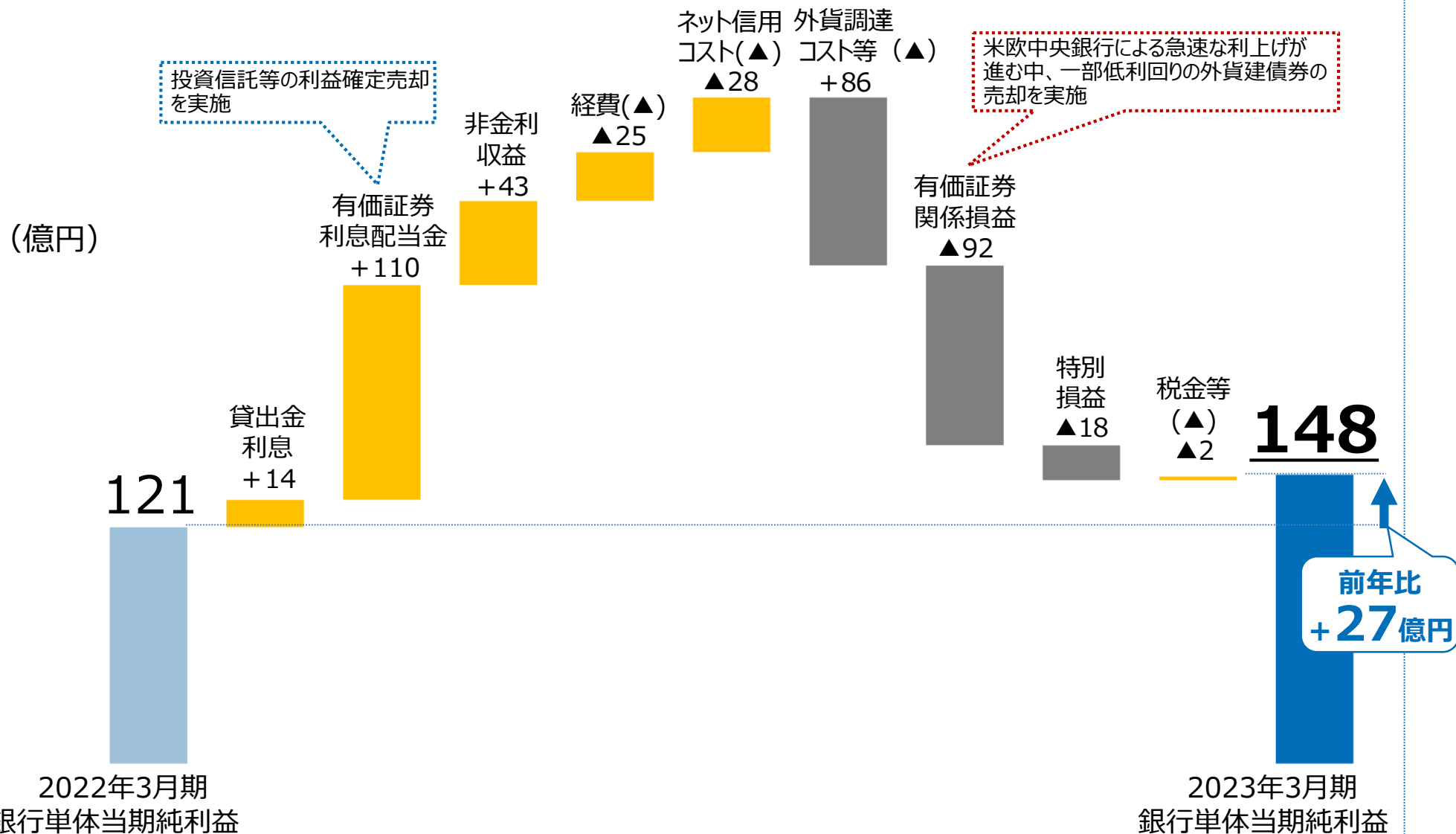
リース事業

前年比▲0.9億円 (▲25.6%)

- － 銀行紹介案件の増加等により増収となるも大口取引先のランクダウンにより信用コストが増加し、前年を下回る

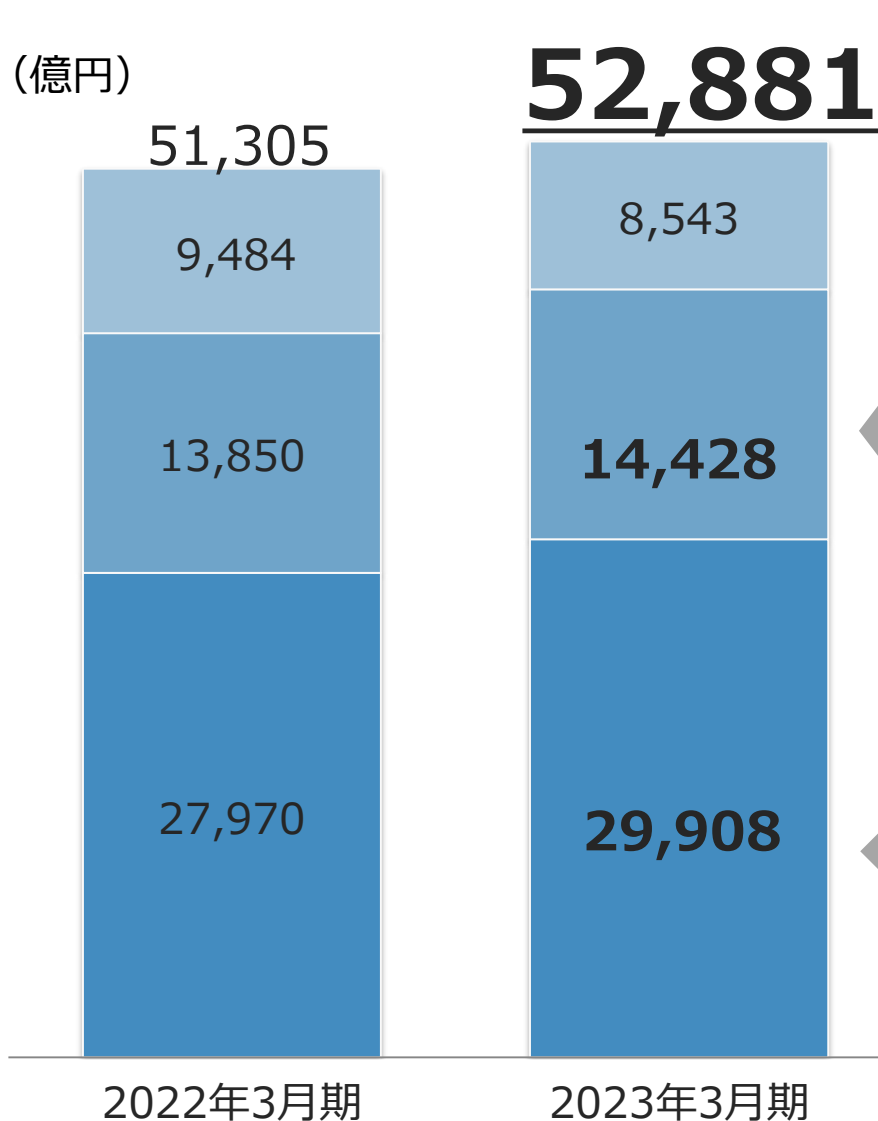
銀行単体の増益で、グループ会社部門の減益をカバーし、 FG連結当期純利益は増益





■ 事業性 ■ 消費性 ■ 公金

(億円)



前年比

+1,575億円
(+3.0%)

消費性

前年比+577億円 (+4.1%)

- － 商品・サービスの拡充や非対面チャネルの活用などにより住宅ローン、無担保ローンともに増加

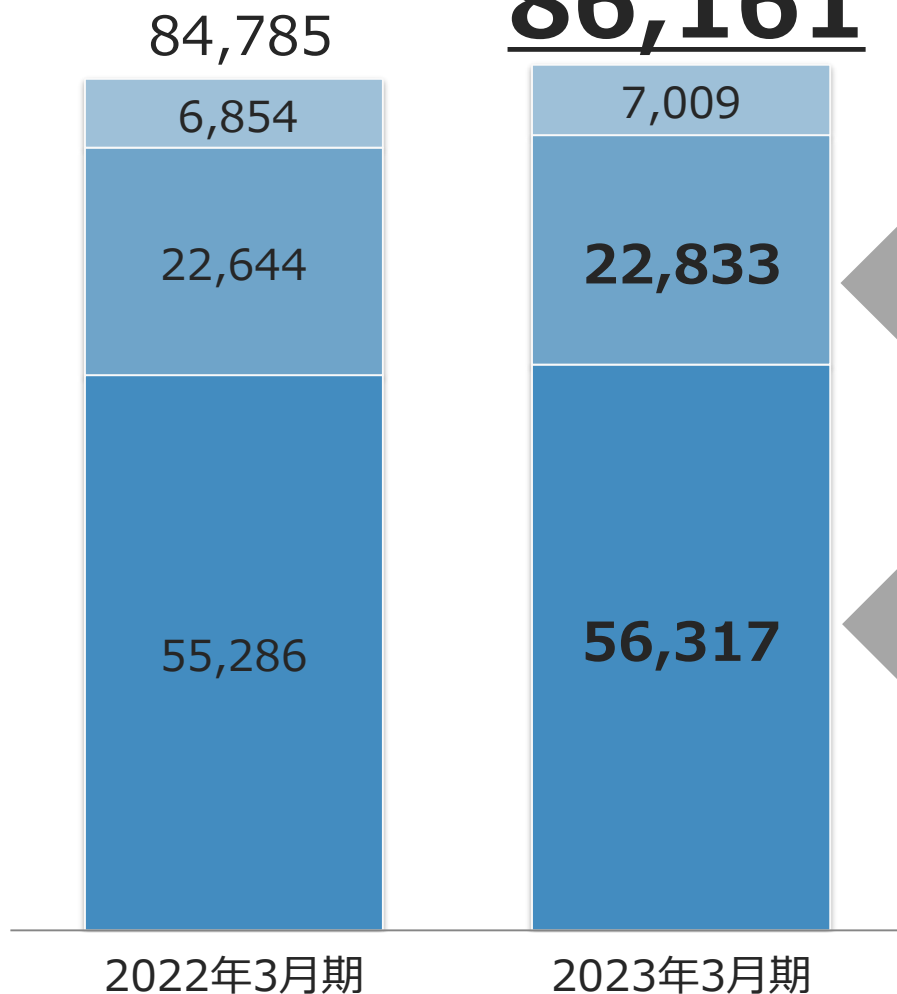
事業性

前年比+1,938億円 (+6.9%)

- － 県内におけるサステナブルファイナンスの増強
- － 県内・県外ともに経済正常化や資材の高騰などを背景とした運転資金需要の増加

■ 個人 ■ 法人 ■ その他

(億円)



前年比

+1,375億円
(+1.6%)

法人

前年比 + 189億円 (+0.8%)

個人 (個人事業主を含む)

前年比 + 1,031億円 (+1.8%)

■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)

262

38※

前年比

+43億円
(19.6 %)

219

49

101

68

141

81

金融ソリューション収益

前年比+40億円（+40.5%）

－ お客さま向けの為替デリバティブ取引の増加が主因

資産運用アドバイス収益

前年比+13億円（+19.3%）

－ 保険や遺言信託の増加が主因

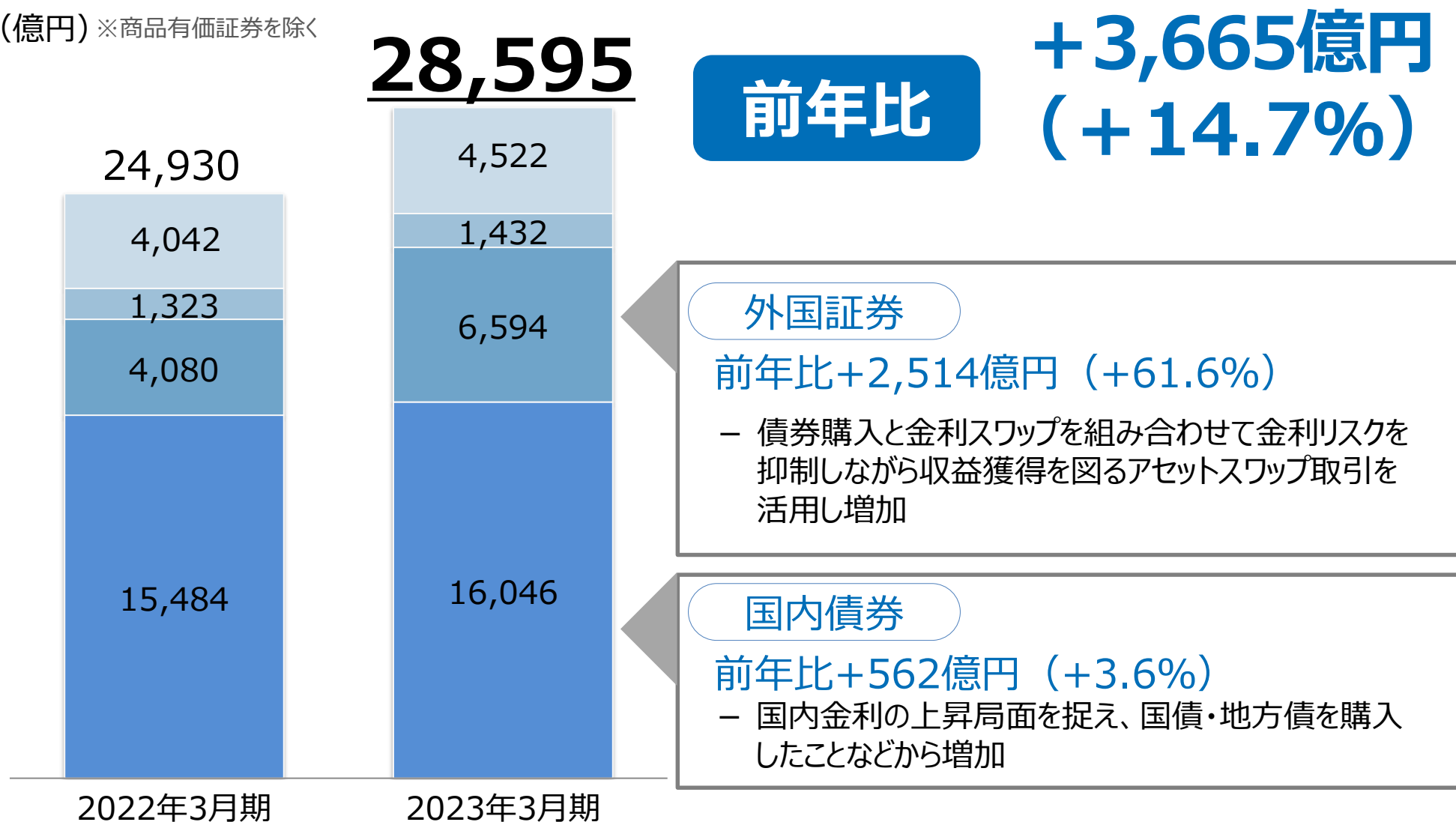
2022年3月期

2023年3月期

※ 市場運用部門のデリバティブ収益：前年比▲10億円

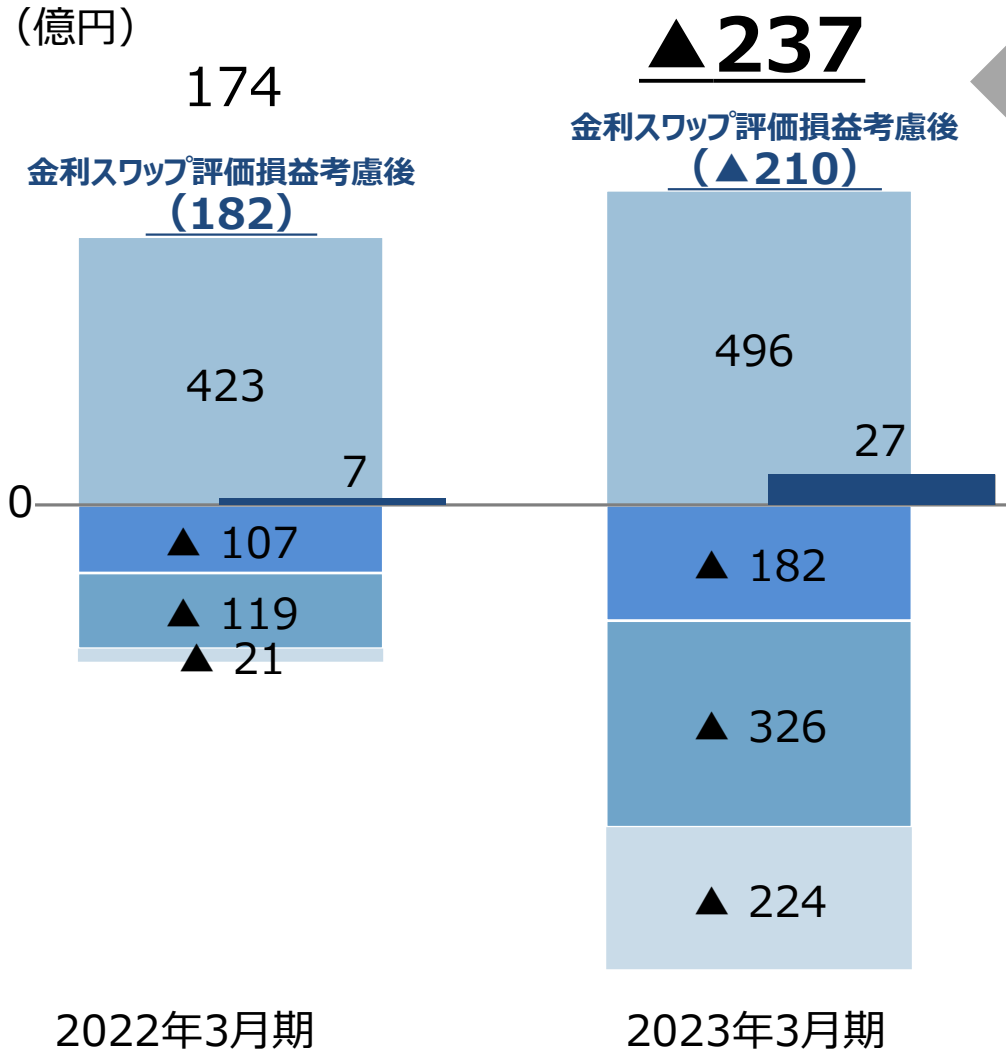
■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円) ※商品有価証券を除く



■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券 ■ 有価証券にかかる金利スワップ評価損益

(億円)



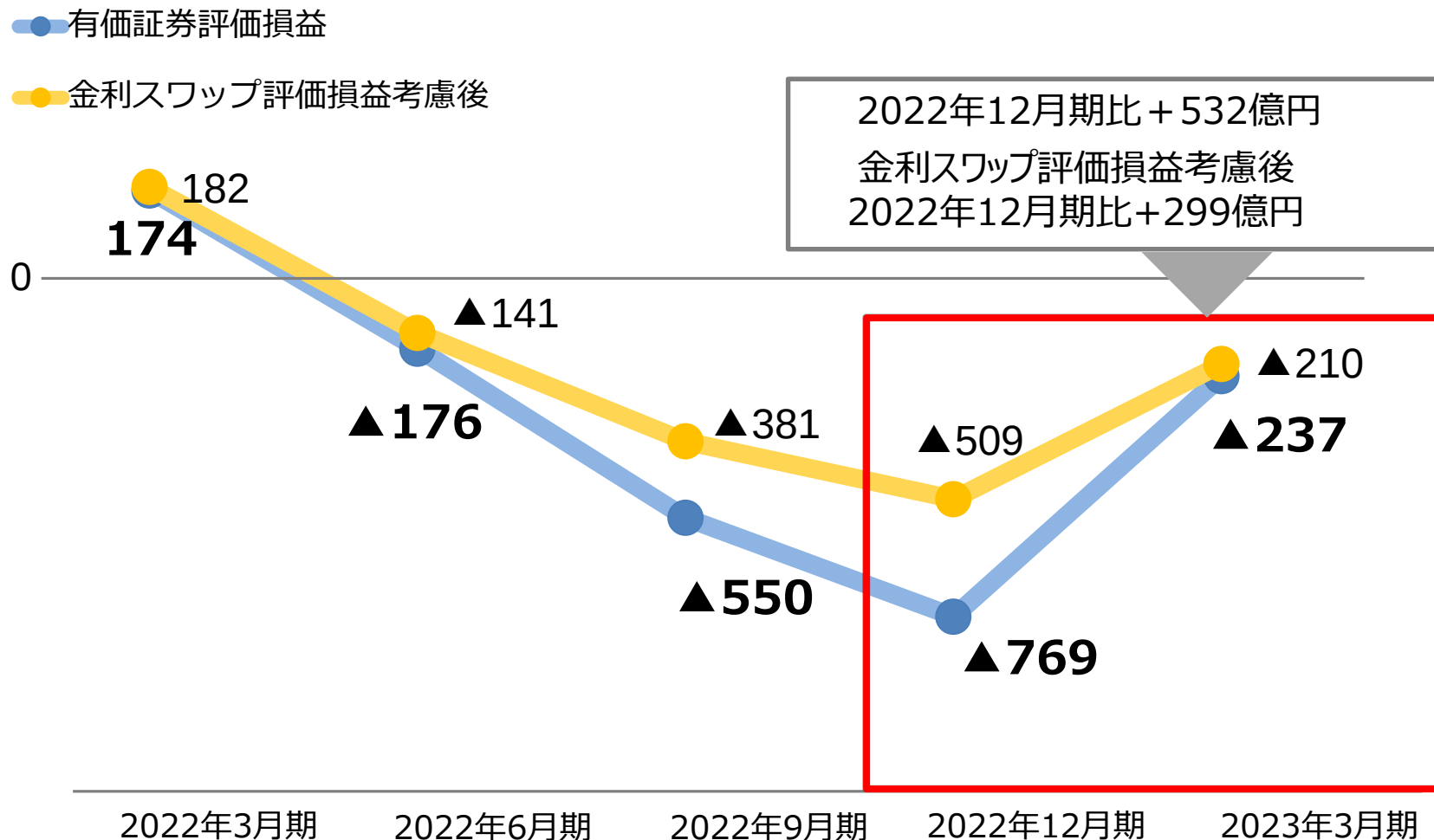
有価証券評価損益

2022年3月期比▲412億円

金利スワップ評価損益考慮後
2022年3月期比▲392億円

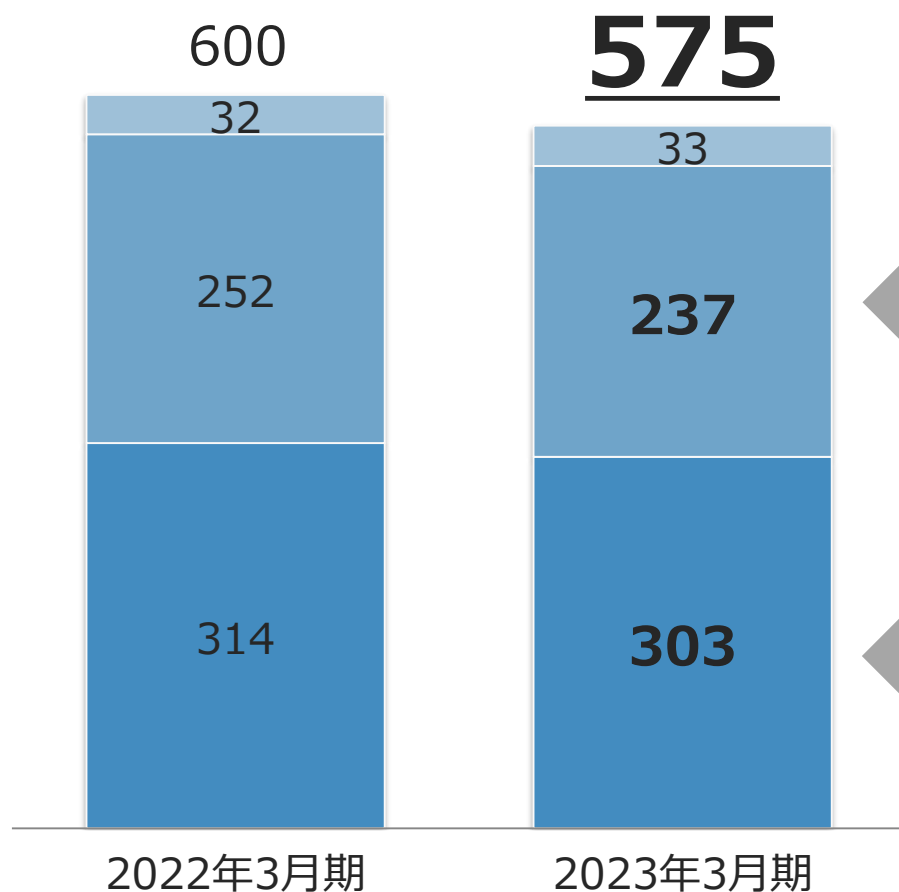
- － 債券運用の大宗は日本国債や米国債、ドイツ国債等の償還に懸念のない高格付の先進国の国債のため、満期まで保有すれば額面で償還され、売却しない限り評価損が実現することはない

【有価証券評価損益の推移（2022年3月～2023年3月）】



■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金

(億円)



前年比

▲25億円
(▲4.2%)

物件費

前年比▲14億円 (▲5.9%)

- － 預金保険料、システムの減価償却費等の減少
- － 頭取を委員長とする「構造改革・DX推進委員会」での厳格なコスト管理の実践

人件費

前年比▲11億円 (▲3.5%)

- － 店舗統合や業務改革による業務量減少に合わせた人員数の適正化
(定年退職、採用の適正化等による自然減)

● 不良債権比率

■ ネット信用コスト

(%)

2.20

2.32

不良債権比率

前年比 + 0.12pt

- － 業績低迷の長期化を要因とした企業のランクダウンの発生などにより増加

(億円)

69

41

ネット信用コスト

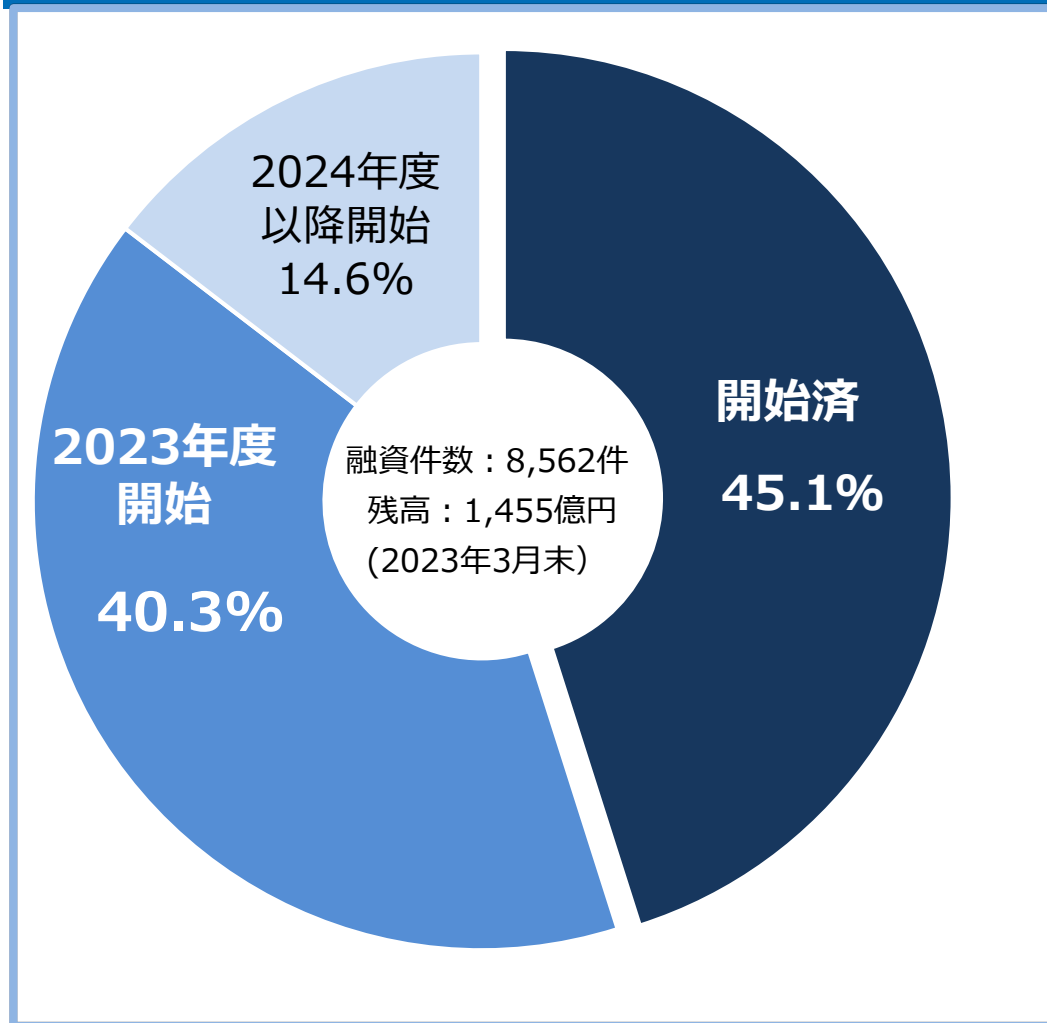
前年比 ▲ 28億円

- － お取引先への経営改善・事業再生のご支援に注力したことなどから減少
- － 新型コロナウイルス感染症や物価高、円安などによる影響を注視し、引き続きお取引先のご支援に注力

2022年3月期

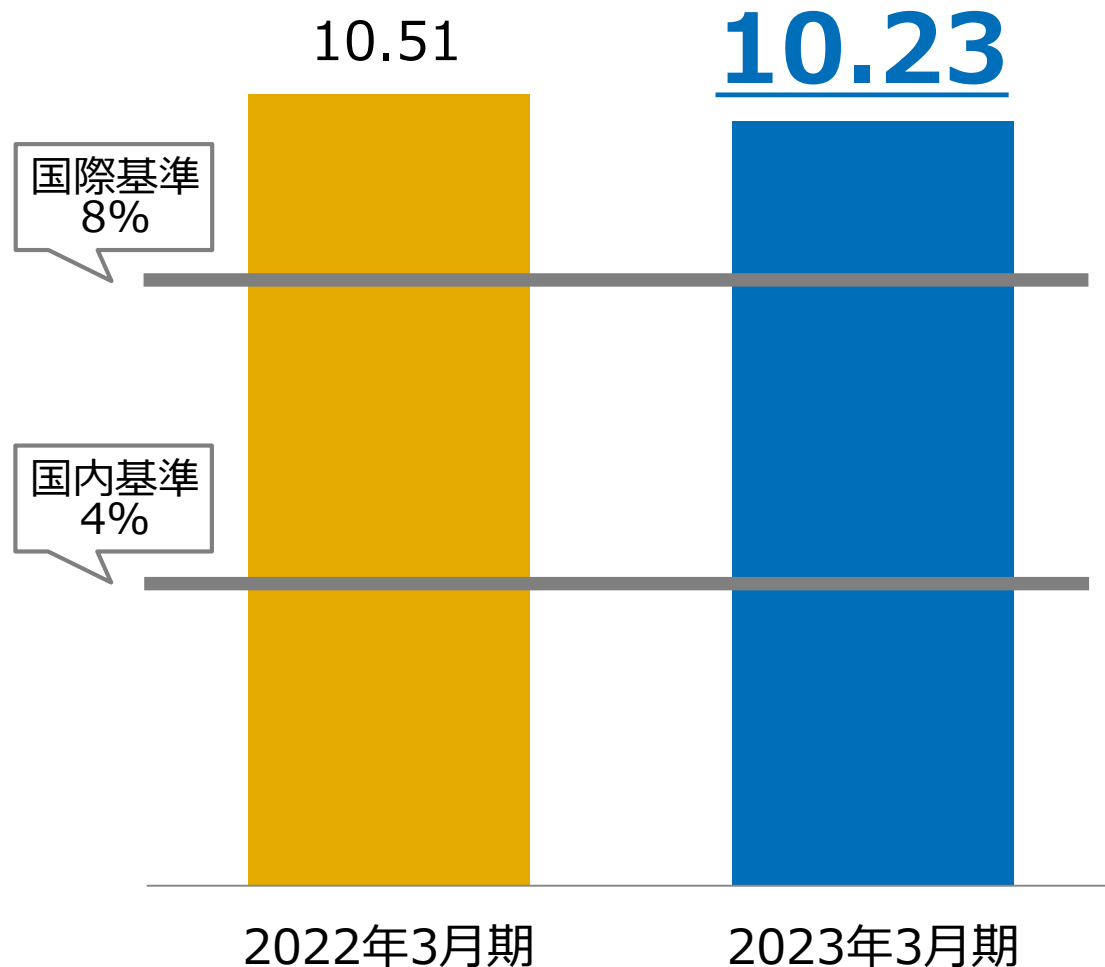
2023年3月期

実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資） の返済開始時期



- 「新型コロナウイルス・ウクライナ情勢・原材料価格上昇等に関する相談窓口」の設置
- 「伴走支援型特別保証制度」の積極的活用
- 資金繰り支援をはじめとした経営改善、事業再生など多面的なコンサルティング営業の実践

FG連結 (%)

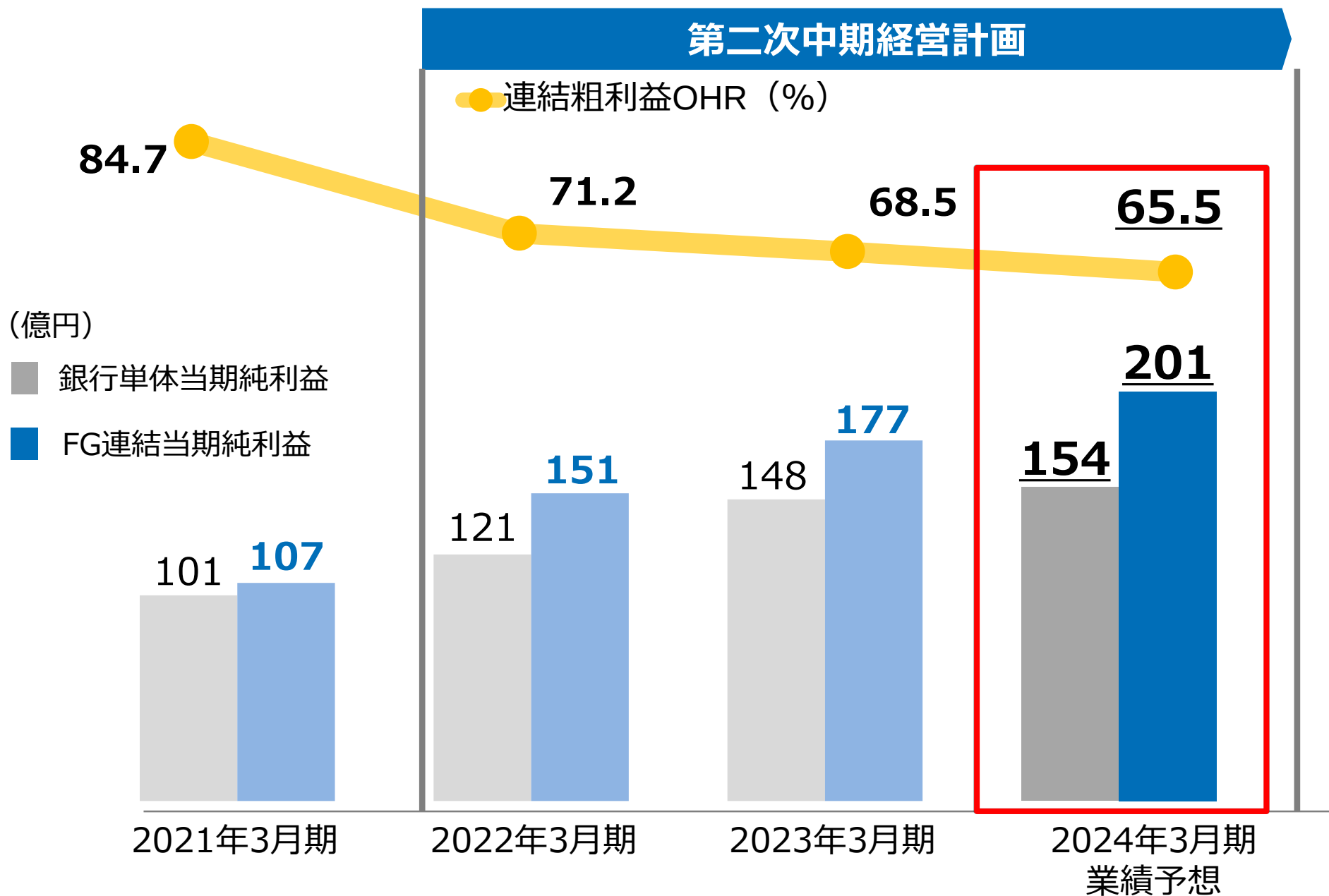


前年比

▲0.28pt

- FG連結での自己資本比率は国内基準である4%、国際基準である8%を上回る十分な水準を確保

2024年3月期業績予想（当期純利益・連結粗利益OHR）



普通配当と記念配当の合計で、年間配当140円を予定

	1株当たり年間配当金		
	中間配当金	期末配当金	合計
2024年3月期 【予想】	70円00銭	70円00銭	140円00銭
(普通配当)	(65円00銭)	(65円00銭)	(130円00銭)
(記念配当)	(5円00銭)	(5円00銭)	(10円00銭)
2023年3月期	60円00銭	60円00銭	120円00銭



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

**第四北越フィナンシャルグループ
経営企画部**

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。